

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和5年3月20日

公表：令和5年 4月 1日

事業所名 chameleon

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	2	体育館や公園など、身体を活発に動かせる場所に積極的に行くようにしています。	面的には条件を満たしていますが、利用者の年齢も上がり体の成長が見られています。今後も事業所以外での活動も取り入れながら、十分に動けるよう配慮していきます。
	2 職員の配置数は適切である	10	1	発達や目標ごとにグループを作ったりと、支援がしやすい環境設定を行っています。	配置職員数は条件を満たしていますが、入職したばかりの職員は配置以上に職員がいた方が良く感じることがあるようです。職員間で連携し、カバーができるよう支援していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	2	部屋ごとの用途は概ね定まっています。	事業所が2階にあり、手すりのみの設置となっています。情報伝達に関しては確実に伝わるよう、色んな手段を使って今後もお伝えしていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1	整理整頓、清潔に関してはその都度、職員の方で管理をするようにしています。	職員だけでなく、子どもたちの意識も育てながらより環境をつついでいこうと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	11	0	1日の記録を振り返り、意見交換をするようにしています。	業務改善の検討をしながら、今後も全員で検討をして行こうと思います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	検討事項があれば、会議をするようにしています。	事業所評価表だけでなく、日頃から意見が言いやすい関係性作りをしていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	公表したあとに、公表したことのお知らせを、より多くの方に見ていただくよう依頼しています。	多くの方にご覧いただけるよう、発信していこうと思います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	6	-	第三者による外部評価は行っていません。保護者よりいただいてご意見や要望等は検討・対応させていただきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	年間の研修計画を立てている。気になることがあればその都度研修をするようにしています。	職員の質の向上を図る為、今後も空き時間で研修を行っていききたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	0	細かく観察、分析をし、職員間でも意見交換をするようにしています。	より細かく分析ができるよう、観察や評価等行っていこうと思います。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	1	職員間で発達について、情報共有はこまめに行っています。	標準化されたもので、家庭に負担のかかりにくいものでアセスメントしていきたいと思っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	0	本人の意向を1番に考え、家族と折り合いのつくように話をするようにしています。	利用者の日々の変化をキャッチながら、その時の目標や必要な支援を検討していきたいと思っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11	0	職員全員の共通理解のもと、支援を行うようになっています。	目標が変わる際には、その都度情報周知や職員間での検討を行っていこうと思います。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	11	0	会議のもと意見を募り、立案するようにしています。	積極的に意見交換ができる環境づくりに努めています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	0	出来るだけ固定化しないようにしつつ、子どもたちの目標とバランスのとれたプログラムを考えるようにしています。	固定はしていないが、目標設定が大きい枠組みになると達成がしにくいため、出来るだけ細かく設定していきたいと思っています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11	0	本人の気持ちを引き出しながら、出来るだけ自己決定で行えるよう関わっている	個別と集団のなかでの様子を今後も細かく観察し、より詳細で本人にあった計画作成ができるよう努めていきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	0	役割について視覚化しています。打ち合わせといった時間は設けていないが、児童について気になる点を共有しています。	今後も役割分担や情報伝達を行い、チームで支援を行っていききたいと思っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	打ち合わせといった時間は設けていませんが、行動についての見解や支援について話しています。また記録にて共有し、出動していない職員も情報が把握できるようにしています。	今後も利用者についての情報や家庭の状況など、職員間で伝達しながら支援を行っていきます。パートの職員に関しても情報を把握できるように記録に残すようにしていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	連絡帳や、個別の療育記録、1日の記録、トラブルの状況、外出時の記録など、細かく記録に残すようにしています。	今後も現状維持で取り組んでいきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11	0	モニタリングのほか、日頃の様子を伺うようにしています。	今後も利用者の状況変化について経過を追い、計画の見直しを行っていこうと思います。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画している	11	0	管理者や児童発達管理責任者が参加するようにしています。	今後も職員全体からの情報を集め、会議の場に情報を持参できるよう努めていきます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	2	必要に応じて関係機関とお話の機会を頂くようにしています。	あまり連携できていないため、機会があれば連携していきたいと思っています。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	3	-	対象児がいないため、利用があった場合には連携していきたい
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	3	-	対象児がいないため、利用があった場合には連携していきたい
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	1	-	対象児がいないため、利用があった場合には連携していきたい
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	2	-	対象児がいないため、利用があった場合には連携していきたい
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2	研修等の案内は職員につたえるようにしています。	会議であった際などに話は積極的にしたり、交流をしたりはするが、研修は行ってないため、行っていききたいと思っています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7	-	地域の公園や、地域の行事に参加し関わることはあるが、企画したわけではないため、積極的に行っていききたいと思っています。
29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	4	7	-	参加する場がないため、開催された場合には参加したいと思っています。	
30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	送迎時や記録等でお伝えをするようにしています。	保護者とお話する職員が全体ではないため、積極的にコミュニケーションをとっていこうと思います。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	3	各ご家庭でのお話は必要に応じて時間を設けるようにしています。	個人的には支援について話をしていますが、ペアレントトレーニングという形では開催できていないため、検討していきたいと思っています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	契約時に説明を行っています。	今後も丁寧に保護者に説明を行っていききたいと思います。またできるだけ理解しやすい言葉の使用を行っていこうと思います。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11	0	十分な説明と、普段のエピソード等踏まえながらお話しするようにしています。	本人や保護者のニーズを含み、できるだけ細かな設定と説明ができるよう努めていきます。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	出来るだけいつでもやりとりができるようメールでのやりとりも行っていきます。電話、メール、面談など保護者に合わせた対応をとっています。	できるだけリアルタイムで迅速な対応ができるよう努めていききたいと思います。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	8	保護者会の希望等はアンケートを取らせていただくことはあります。	父母会等は感染のリスクが軽減した際に、検討していききたいと思います。開催をした際にはできるだけ多くの方にご参加いただけるよう努めていきます。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	いつでも見れるように玄関壁に掲示しています。	今後も迅速に柔軟に対応していききたいと思います。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	メールやSNSなどにて、事業所内のことをお知らせするようにしています。	保護者によりご覧いただけるよう、周知やメールを見て頂けるようお伝えしていきます。
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	11	0	注意を払いながら、取り扱うようにしています。	個々の持ち物管理について、子どもたちの支援を行いながら、今後管理には注意を払っていききたいと思います。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	わかりやすく、見やすい伝達ができるよう利用者・保護者に合った方法でお伝えするようにしています。	今後も様々な方法を使用し、質の良いコミュニケーションを図っていこうと思います。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	7	地域に外出した際には、地域の方からご興味を持っていただけることがあります。その際には積極的に関わらせていただいています。	招待できていないため、検討したいと思います。
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	4	-
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		9	2	訓練実施は連絡帳やSNSでの報告をしています。	本番に近い形で訓練を実施するようにしています。
43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		10	1	契約時や体調の変化があった場合など、必要に応じて状況確認をするようにしています。	てんかん発作の様子や対応についての詳細は、保護者にお尋ねしていますが、実際に事業所内で発生したことがないため、対応が必要な際には冷静に判断・対応していききたいと思います。
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		9	2	契約時にアレルギーの有無、症状、ご家庭での対応をお尋ねしています。	指示書には基づいていません。保護者のご希望をお尋ねし、その通りに対応しています。
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		11	0	すぐに報告書を作成し、職員全体に回覧するようにしています。	今後も気づいたことがあれば、細かい事も積極的に挙げていこうと思います。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		11	0	研修や会議を行う際に、困っていることや対応について共有をするようにしています。	対応については職員間で共通理解できるよう、今後も務めていききたいと思います。
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		9	2	-	身体拘束をしている児童がいない為、対象の利用者がある際には対応していききたいと思います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。